

# AWA

## 2014 Vol.21

awa onna akindo jyuku

### おんなあきんど塾

特集

第4回

# AWAおんなあきんど大賞

最終選考会・表彰式開催

ショップオーナー編

- まごころをもってお客様に応じた美と健康の提案をする  
稲田 美保 / 日本メナード化粧品代行店(美容・小売業)
- 手作りの美味しさにこだわり、おもてなしの心を届ける  
幸崎 由紀子 / 甘味処あんみつ姫(製造・喫茶)
- 贈る言葉や想いを永遠のカタチに彫り刻む  
新竹 敏美 / 福刻堂(オリジナルギフト製造小売)
- 日本一の心温かい自動車学校を目指して  
祖川 康子 / 広沢自動車学校(自動車教習所)
- 阿波おんならしい、元気とパワーと笑顔を全国に届ける  
中山 しのぶ / Peach garden(子ども服販売)
- 一か所でヘアメイクから着付けまでトータルに美しく  
福原 佐和 / HAIR STORY(美容室・エステ)
- 心も体も病気にさせない予防医学を大切にする  
三谷 和子 / 三谷薬局(薬局)

「とくしまマルシェ」の仕掛け人が語る!!

女性が活躍する  
「とくしまマルシェ」の魅力  
田村 耕一(徳島経済研究所 専務理事)

おんなあきんど七人の  
本気トークをご紹介します!!

商売のヒントがここに!?





第4回

# AWAおんなあきんど大賞

## ショップオーナー編 最終選考会・表彰式開催



徳島市長

原 秀樹

### ごあいさつ AWAおんなあきんど大賞に寄せて

「讃岐男に阿波女」ということわざがありますように、徳島の女性は、元気で明るく働き者と言われており、平成7年に結成されました「AWAおんなあきんど塾」では、徳島を代表する女性経営者が集まり、女性の視点を活かした知恵やアイデアによって徳島をリードする女性経営者が育つ環境づくりを目指し、本市と協働で様々な取り組みを展開しております。

また、徳島には輝く女性が数多くいることに注目し、その方々を顕彰しようという試みから、平成22年に「きらめく女性大賞」を創設しました。この大賞を通じて、これまでに入賞された方々が、柔軟な発想力と積極的な行動力を果敢に発揮し様々な分野でご活躍されておりますことは、本当に心強い限りでございます。

この「きらめく女性大賞」も今回で第4回目を迎えるわけですが、このたびは、名称も新たに「AWAおんなあきんど大賞」としまして、徳島市内に店舗を構える女性オーナーに焦点を絞り、徳島の地域経済に直接的に関わりを持ち、お客様や店づくりを通じて地域に根ざした経営に取り組む姿を発表していただくことといたしました。

● 稲田 美保 さん(日本メナード化粧品代行店)



● 幸崎 由紀子 さん(甘味処あんみつ姫)



● 祖川 康子 さん(広沢自動車学校)



● 中山 しのぶ さん(Peach garden)







私も、審査委員の一員として発表者の皆様の元気で頑張る姿を拝見させていただきましたが、どの方の発表も力強く郷土愛に満ち、徳島の未来を切り開いていく情熱と行動力を実感いたしました。今後とも「阿波女」の魅力を存分に発揮され、地域経済を支えていただきたいと思います。

本市といたしましても、頑張る女性が夢をかなえられるような創業の支援に取り組むなど、あらゆる分野で女性が活躍できる舞台である「心おどる水都・とくしま」の実現に向け、様々な施策を推進してまいりますので、皆様方には、引き続き力強いご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、「第4回AWAおんなあきんど大賞」の開催にあたり、多大なるご尽力をいただきましたAWAおんなあきんど塾キャストの皆様、お忙しい中ご審査を賜りました委員の方々、関係各位に厚くお礼を申し上げますとともに、皆様の今後ますますのご健勝・ご活躍を心からお祈り申し上げます。



● 新竹 敏美 さん(福刻堂)



プレゼンテーション



● 福原 佐和 さん(HAIR STORY)



● 三谷 和子 さん(三谷薬局)







## 審査委員からの感想 (順不同)



一般社団法人徳島新聞社 理事 **米田 豊彦氏**

どの発表者も自身の優れた持ち味をうまく事業に反映させており参考になることが多々ありました。審査に当たり男女の性別はもはや無意味で、どんな視点で考えどう行動するか、そしてどれだけの思いを傾注できたかが結果となるということを改めて教えられたと思います。



四国放送株式会社 取締役報道制作局長 **岡本 和夫氏**

仕事を始めた動機や年齢、職種も違う7人に点数を付けるというのは、正直骨が折れる仕事でした。すべての方が、眩しく、優しく、力強く感じられたからです。何気なく利用しているお店に秘められた苦勞と工夫の数々。「店は人なり」を改めて知る機会となりました。



株式会社阿波銀行 経営相談所 所長 **小林 克仁氏**

女性ならではの発想や工夫、日頃のご努力がひしひしと伝わってくる魅力的なプレゼンばかりで感動の連続でした。皆さんがお客様の満足の実現のために明るく生き生きと働いている姿を拝見し、「AWAおんなあきんど」の実力とパワーをあらためて実感しました。



株式会社徳島銀行 法人ビジネスセンター長 **篠原 章氏**

初めて「AWAおんなあきんど大賞」の審査委員に参加しましたが、書類選考を通過した7人の女性によるプレゼンテーションは、全員自分の仕事にプライドを持ち、意欲的に取り組んでいる姿が感じ取られ、とても清々しい気持ちになりました。今後も頑張ってください。



第3回きらめく女性大賞 受賞者 **源 純夏氏**

皆さんのパワー溢れる発表に元気を頂きました！この大舞台で自分の想いを伝えるために準備に多くの時間を費やしてこられたと思います。昨年の自分を思い返してみても、そのプロセスも含め、貴重な経験になったのではないのでしょうか。





**さすが、女性オーナー。  
徳島の地域経済を  
支える底力です。**

第4回AWAおんなあきんど大賞  
審査委員長

AWAおんなあきんど塾 代表  
オートクチュール板東 代表

**板東 美千代**

おかげさまで第4回「AWAおんなあきんど大賞」を盛況のうちに終えることができました。感動的で質の高いプレゼンテーションをご披露いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

平成22年度にスタートした「きらめく女性大賞」は、徳島で働く女性をフォーカスし、さまざまな分野での活躍を多くの方に知らせたいという趣旨のもと、過去3年連続で開催してまいりました。本年度からは「AWAおんなあきんど大賞」へと名称を変更し、今回は、徳島市内に店舗を持つ女性オーナーを対象に募集をいたしました。

私自身も、たいへん楽しみにしておりました最終選考会でのプレゼンテーションからは、女性ならではの細やかな心づかいが感じられ、仕事を通じてご自身の人生そのものを楽しみ、きらめいている様子が手に取るように伝わってまいりました。

阿波おんなとして地域に根ざし、お客様やスタッフを心から愛し愛され、ともに成長していく姿からほとばしる熱意が会場にじわじわと広がっていく雰囲気になりながら、これがまさしく徳島の地域経済を支える底力なのだと実感いたしました。

最終選考会に際しましては、長時間にわたって集中した審査をいただきました審査委員の皆様、観客席からあたたかい拍手とエールをおくってくださったご来場の皆様、本当にありがとうございました。心より感謝の意を表します。

今後も、活力にあふれ、元気いっぱいの阿波おんなが活躍する未来徳島の発展を願い、私たちAWAおんなあきんど塾は、情熱をもって活動を続けて参りたいと思っています。

どうぞ、今後ともよろしく願い申し上げます。





「第4回AWAおんなあきんど大賞」最終選考会を2月8日、徳島市のふれあい健康館で開催いたしました。大賞を受賞された広沢自動車学校の祖川康子さんをはじめ、各賞に選ばれた7名の発表内容をご紹介します。

## 大賞

卒業生の「心のふるさと」になり得るために全員で命の大切さを伝えて行く取り組みが高く評価されました。

経営者と職員とお客様が心を通わせながら、お互いの立場で大切なことを学び合い、ともに成長している様子がプレゼンテーションから感じられました。これからの徳島の未来を担う若者のためにも、さらに心温かい感動の輪が広がって行くことを期待します。

## 日本一の心温かい自動車学校を目指して

教習所って、一生に一度だけ行くところ、怒られたイメージが強く、二度と行きたくない…そんな声をよく聞きます。しかし!広沢自動車学校は、いつでも帰ってきていただける「心のふるさと」であり、笑顔がいっぱい集まるところなのです。

「広沢母校」～日本一の心温かい自動車学校を目指して～  
2009年にこの経営理念に変えてから、会社はどんどん変わってきました。

広沢自動車学校は、単に車の運転の技術、知識を教えるだけではなく、いかにして、両親に祝福されて生まれてきた大切な命を悲惨な交通事故から守っていくかを真剣に考えています。

一人ひとりのお客様と心を通わせ、「あなたは大切な存在なのですよ」というメッセージを送り、自分の命は自分だけのものではなく、周りの人に支えられて生かされているかけがえのない尊いものであることをお伝えしたい!そして豊かな心を育み、一生無事故のドライバーを育成したいと考えています。

その為に、弊社の職員は、お客様との関わりを大切にしています。インターバルや、昼休みのちょっとした時間でも、積極的にコミュニケーションを図ります。その何気ない会話の積み重ねから、絆は生まれます。それは、一人の職員がするのではなく、全員で行います。

弊社の行う卒業式では、「高校の卒業式でも泣かなかったのに…」と、号泣されるお客様もたくさんいらっしゃいます。そうして、「広沢大好き」と言ってくれる熱烈なファンが現れ始め、「お客様営業部隊」が毎年誕生し、広沢の良さを伝えたいとイベントの企画運営などのお手伝いをしてくれています。

弊社には、18歳や19歳の大人への入口に立つお客様がたくさんいらっしゃいます。その方たちにしっかりと関わり、親御さんへの感謝の気持ちを持ち、すなおに「ただいま」と言える心、人を



広沢自動車学校 祖川 康子さん

- 業種 / 自動車教習所
- 創業 / 昭和37年 ● 従業員数 / 37名

思いやる優しい心を育むこと、つまり「心の教育」が必要です。それには、私たちがお客様に寄り添い、しっかりと関わり、感動していただくこと。若者の手本となれるよう、私たちが仕事にやりがいを持ち、自らを高め、人のお役に立てる人財になることが大切です。

笑顔で楽しくいきいきと働く大人を見て、若者が将来に希望を持って羽ばたいて、徳島の活性化に貢献することが私たちの理念に込められた使命なのです。

これからも、感動を共に味わい、親子の架け橋となれる、「心つながる自動車学校」でありたいと思います。

素晴らしい大賞をいただき、大変光栄に存じます。教習所の新たな可能性と価値をお伝えしたい、との想いでプレゼンさせていただきました。発表して改めて、職員に支えられ、家族や周りの方々に支えられていることを実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。この賞を励みに、益々職員がいきいきと輝ける会社づくりをしていき、地域の皆様に貢献できるよう、頑張ります。本当にありがとうございました。



徳島市長賞

女性の感性を活かした情報発信。世界に向けて徳島市をPRし、地域経済の発展にますます貢献してください。

徳島市長 原 秀樹

## 阿波おんならしい、 元気とパワーと笑顔を全国に届ける

ピーチガーデンは、ミキハウスダブルBの専門店、店舗は東船場町のろくえもん通りにございます。全国でも唯一のダブルB専門店、お洋服のみならずグッズやシューズ等、トータルでダブルBコードをさせていただけますように豊富な品揃えで皆様のご来店をお待ちしています。

私が起業しようと思ったきっかけは、前職で大変お世話になった阿波おんなあきんど塾の植田貴世子社長(株式会社クラッシー)の影響です。当時は様々な営業のお仕事をさせていただいておりましたが、保育のお仕事に携わった際、徳島には働く女性が多い事、女性起業家率が高い事等を知り、そして深刻化する少子化問題を目の当たりにし、子育て支援の重要性を痛感いたしました。一方で、女性起業家の方々とお話をさせていただいた事もございますが、皆様それぞれの分野でご活躍されていてとても輝いていらっしゃいました。そんな環境でお仕事をさせていただいているうちに私は次第に起業へのあこがれを強くしていきました。その時の夢は「大好きなダブルBのお洋服をこの徳島で販売したい!」そして「お客様とお話をする中で、時にはこれまでの私の経験や知識をお伝えできて、育児をされているママ達のお役に立ちたい!」そうする事で少しでも私なりに社会貢献ができればいい

なあといい想いでした。そして夢を叶える為に退職をして、2008年4月にダブルBの専門店をオープンいたしました。

現在当店では、店舗と通販で売り上げを確保しています。店頭にご来店下さるお客様にはまずは商品をご覧いただきやすいように、目でお楽しみいただけるようにディスプレイを工夫しています。通販ではホームページからお買い物をいただいています。同時にブログやフェイスブックも活用して、商品の良さを、より多くの皆様に、よりお楽しみいただけるように努めています。

最近では、心のこもったお手紙やメール、おやつ(笑)まで差し入れをしてくださるお客様も増えて参りました。「子育て応援隊!」と思ってお仕事をさせていただいておりましたが、私の方が逆にお客様をはじめ周りの皆様に応援してもらっているな、愛をもらっているな、と感じています。そして皆様に心から感謝しています。

この気持ちを活力にかえて、これからも、店頭にご来店下さるお客様を大切にしながらも、SNSをフル活用し、全国、そして世界の皆様にピーチガーデンをアピールし、同時に徳島もアピールしてファンを増やす事によって、売上を増やしていきたいと考えております。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



Peach garden

中山しのぶさん

- 業種 / 子ども服販売
- 創業 / 平成20年 ● 従業員数 / 1名

「徳島市長賞」という素晴らしい賞を頂き、スタッフや友人家族と喜び、お客様からもたくさんのお祝いメッセージをいただきました。このような貴重な機会を与えてくださいました徳島市、AWAおんなあきんど塾関係者の皆様に心から御礼申し上げます。これからも私なりに少しでも地域社会に貢献できますように努めて参りますので宜しくお願ひ致します。



三谷薬局 三谷 和子さん

- 業種 / 薬局 ● 創業 / 昭和35年 ● 従業員数 / 18名

素晴らしい賞をありがとうございます。このような機会を与えて下さり、改めてたくさんの方々を支えられて今日があることを実感いたしました。これからも町の薬局として地域の皆様のお役にたてるように、女性らしい柔軟な発想をもって頑張ります。

徳島新聞社賞

薬屋さんがコミュニティの中心にあり、人と人が繋がる場を創出している。そこは笑顔が輝き、店も繁盛することでしょう。

(一社)徳島新聞社 理事 米田 豊彦

## 心も体も病気にさせない 予防医学を大切にする

徳島で生まれ育ち、父が薬局経営をしていたため薬剤師になりました。大学卒業後は、製薬会社で働いていましたが、直接患者様と関わる仕事がしたいと思い、三谷薬局へ戻りました。

店頭で患者様の相談を伺っているうちに、どうして病気になるって、薬を飲むようになったのだろうか?と、はがゆい想いが残るようになりました。そして皆様が、薬を飲まずに元気に過ごせるように、お手伝いすることが町の薬局の役目だと思ったのです。

ストレスの多い現代は、自律神経のバランスを崩し体が興奮した状態が続きやすくなります。毎日の生活を少し改善することでバランスを保ち、血流を良くし、様々な病気から体を守る力を高めることができます。

このことを少しでも知っていただきたく、具体的にふたつの取り組みを実践しています。

ひとつめは、骨密度や血管年齢など6項目を測定し、実際に数値を見ながら、今後の健康についてお話をさせていただく体測定会の開催。ふたつめは、少しでも心安らぐ時間を過ごしてもらいたく、花のアレンジや歌、写経などを一緒に楽しんでいただく心と体セミナー開催です。どちらも地域の皆様に楽しみにしていただいています。

症状を聞いて薬を考えるのではなく、「手当て」という言葉どおり、辛いところに手を当ててさしあげるところから始める!!

この気持ちを忘れずに、これからも地域の皆様の健康のお手伝いをさせていただきたいと思っています。



四国  
放送賞

“すべてはお客様のために!” 初心を忘れず「学び」続ける。その継続が、事業の発展、成長に繋がっています。

四国放送(株) 取締役報道制作局長 岡本 和夫

## 一か所でヘアメイクから着付けまで トータルに美しく

ヘアストーリーは、お客様の心とスタッフの心が一つになって、最高のストーリーの架け橋になりたいと思っています。

私は、大阪で7年間美容師として働いていました。23歳の頃、今は亡き父の会社の経営が傾き、一家を支えなければならぬ状態になった事から、起業することに。大阪から戻り、ゼロからの出発です。

お客様に最高の「おもてなし」をしよう、必ず笑顔で帰っていただくとう心に誓いましたが、23歳の私にできることは、「只々、一生懸命やる」それだけでした。

オープンして半年くらいたった頃、大切なお客様から「佐和さんにドレッドをやってもらいたいのよ」というひと言。この希望に応えたいと思い、単身大阪へ。技術を習得し、見事にお客様の望むヘアスタイルを完成し、とても喜んでいただけました。この時から、お客様の希望を出来る限り叶えたい、私のやれる事は全てやりたいと思うように

なりました。このお客様の一声がきっかけとなって、エクステという技術に出会った結果、四国中からお客様が集まるという、自分でもびっくりするようなサロンに成長しました。

2013年の夏、メディアでも大人気だった「奇跡の一枚」を、新しい大人の遊びとしてやってほしいと、お客様にオーダーされ、同年秋にデビューしました。

これまでは、20歳代、30歳代のお客様がメインでしたが、「奇跡の一枚」のお客様は50歳～90歳と幅広く、多くの方にご利用いただいています。料金もヘアメイク、衣裳、写真込みでの分がやすい低価格を実現しました。

これからも、お客様一人ひとりにご満足していただけるように、より一層工夫し、必ず笑顔で帰っていただけるような、【本物のサロン】になりたいと思っています。どうぞ皆様、よろしく願いいたします。



### HAIR STORY 福原 佐和さん

- 業種 / 美容室・エステ・スクール・写真
- 創業 / 平成11年 ● 従業員数 / 11名

ありがとうございました。このたび、AWAおんなあきんど大賞に参加させていただき、自分の原点を見直すことができました。これからもお客様に最高の笑顔で帰っていただける「おもてなし」をさせていただきますと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。



日本メナード化粧品  
メゾンドゥアンジュ代行店

### 稲田 美保さん

- 業種 / 美容業 ● 創業 / 平成25年

本当にありがとうございました。自分の仕事について見直す良いきっかけになりましたし、たくさんの方に支えられて今の自分がある事を実感しました。この度のご縁を大切に、今後も私らしく頑張っていきたいと思っています。

あきんど  
塾賞

お客様に真摯に対応する姿勢や女性の感性を活かした営業の工夫、中身の濃いプレゼンを高く評価しました。

(株)阿波銀行 経営相談所 所長 小林 克仁

## まごころをもってお客様に応じた 美と健康の提案をする

メナード化粧品(株)が創業して55周年。常に大切に受け継いできたものは「まごころ」です。私がお客様にお届けしているものは商品だけではございません。商品と技術とともに「まごころ」もお届けしているのです。

私が大切にしたい「まごころ」とは、人に親切である事を心がけ、お客様の為に何が出来るのかを考え実践する事です。

現代人の身体は急激に変化した食生活、環境ホルモン、ストレスにさらされた生活環境などにより、病院には行く程ではないけれどなんとなく毎日がつらい! … カウンセリングをされていてそんな方が増えている様に思います。

「なんとなく毎日がつらい」を少しでも緩和したくお客様のお話を伺い、そのお話の中から必要なものを見出し、お手入れをさせて頂く、「かゆい所

に手が届く」セラピストである事が私の仕事だと考えます。

お客様とのコミュニケーションを「あえてアナログ」と心がけ、人としての関係性を第一に考え行動をする!

数字は後からついてくるもの!と考え、具体的なデータ化は開設から半年間は避けてきました。この度、算出してみた結果、昨年同期比で、売上、お客様単価ともにUP、お客様数に関しては1.5倍という驚きの結果が出ておりました。

そしてこの度、代行店から目標としてきたサロン店へと新規オープンを行いました。初心を忘れる事なく人との繋がりを大切にお客様と共に輝いた毎日を送っていける様、まごころをこめた「美と健康」のご提案をして参りたいと思います。



あきんど  
塾賞

新竹さんの熱い気持ちが込められた、世界で一つのオリジナル加工品によって、幸せの輪が広がることを願っています。

(株)徳島銀行 法人ビジネスセンター長 篠原 章

## 贈る言葉や想いを永遠のカタチに彫り刻む

最高の「ありがとう」に出逢えるものづくり。世界にひとつの完全オリジナルの贈りもの。

ガラスアートを簡単に申し上げますと、サンドブラスト工法という、コンプレッサーから細かい砂の粒子をガラスに吹き付けて、一つ一つ手作りで彫り刻む技法です。

革製品、陶器、金属、木材、アクリルなどに写真やメッセージなどの文字を彫り入れます。中でも写真を彫る加工は、12年の歳月をかけて独学で私が生み出した特別な技法で、現在、日本国内を見渡しても非常に少なく、福刻堂ならではの、他に例のない加工です。

一人ひとりのお客様と打合せをさせていただきながら、想いをカタチに完成していくので、世界にひとつの完全オリジナルの贈り物として、また、結婚祝いや出産祝いなどの各種記念品として喜んでいただいています。

2013年1月にオープンさせていただいてからは、

たくさんの人に出逢い、友人に恵まれ、お客様に支えていただき、起業して本当に良かったと思っています。

これからも、作る側の私の笑顔から贈る側のお客様の笑顔、そして贈られた方々への笑顔のパンパスを福刻堂から繋いでいきたいです。

そして、常に学ぶ姿勢を持ち続けることで、よき出逢いに恵まれ、自分を成長させてくれると信じ、また、そうすることで、作品の幅が広がり、更に深みのある、世界にたったひとつのオリジナルの贈り物で、世の中を幸せにできる福刻堂であり、私でありたいと思います。

今後も、ガラスアート職人としての「信念」を強く持ち、たくさんの方々に支えていただいていることを忘れず、最高の「ありがとう」に出逢える作品作りをしながら、一度しかない人生を生き生きと、元気に明るく頑張っていきたいと思っています。



福刻堂 新竹 敏美 さん

● 業種 / 製造業 ● 創業 / 平成25年

ありがとうございました。「想い」をカタチに出来る福刻堂を知って頂きたく、応募させていただきました。人生に贈り物はずっと寄り添うものだと思います。福刻堂の贈り物で良いご縁が結ばれるきっかけとなることを願い、今後も頑張らせていただきます。



甘味処あんみつ姫

幸崎 由紀子 さん

● 業種 / 製造喫茶  
● 創業 / 平成10年 ● 従業員数 / 3名

16年間、頑張ってきたご褒美をたくさんいただきました。徳島からいろんな情報を発信して、ますます元気な女性起業家が増えていくことを願っています。

あきんど  
塾賞

幸崎さんが持つ、人を和ませる雰囲気十分に伝わる発表で、他の人には無い魅力にあふれていました。

第3回きらめく女性大賞受賞者 源 純夏

## 手作りの美味しさにこだわり、おもてなしの心を届ける

甘味処あんみつ姫は、16年前、南佐古に誕生いたしました。

当時、私自身が、銀行勤めと家の往復だけで、リセットする時間がなかなかとれず、「女の子が一人で入れて、ホッとできる店があったらいいのになあ…」とっていました。

商売をしたいという夢もあったのですが、銀行の仕事も充実していて、なかなか商売の道へは踏み切れずにいたある日、銀行に送られてきた「AWA おんなあきんど塾」のパンフレットを見て、それがきっかけで、17年前にあれよあれよという間に、35年間の夢だった「商売への道」に入ることになりました。

コンセプトは、身体に良い食材を使って手作りの美味しさを味わってもらいたいということで、〈手作りの美味しさにこだわり、おもてなしの心を届けます〉という経営理念をつくりました。

【春は桜・夏はひんやりかき氷・秋はほっこりぜんざい・冬はあったかぞうすい】と、来ていただけるお客様に、一年中楽しんでいただけるメニューを考えました。

店を始めてみて、本当に嬉しかったのが、「美味しい」や「ありがとう」と言ってくれるお客様の言葉です。お金も頂けて、そしてニコニコとして帰って行かれる姿を見て、こんなにお商売して楽しいものなのかと、いつも「嬉しさを実感」しています。



「とくしまマルシェ」の仕掛け人が語る

# 女性が活躍する「とくしまマルシェ」の魅力

講師 田村 耕一 (徳島経済研究所 専務理事)

ボードウォークで毎月最終日曜日に開催される「とくしまマルシェ」、県外客からも人気で平均来場者数は1回に12,000人と、いまや全国で最も勢いのある産直市と言われるようになりました。

バリの朝市のようなお洒落感があって、行くだけで元気がもらえる他にはない産直市を徳島に、ということで提案しました。

人気の秘密は、マルシェスタッフが、こだわり抜いて県内全域から選んだ自慢の食の逸品が揃っていること、川沿いの絶好のロケーションで展開されること、毎回、目玉企画や音楽ライブなどイベント満載であること、ネットマルシェの開設やユーストリーム、フェイスブックでの発信などITを活用していること、などです。

とくしまマルシェでは、女性の活躍が光ります。マルシェスタッフの女性達は朝から、本部で出店者の受付や、お買い物客の宅配受付、問い合わせ対応、マルシェ会場からのユーストリームによるライブ中継、マルシェ・カフェでの販売と大忙しです。野菜ソムリエのみなさんも出店し、美味しい調理法など知識の普及に努めてくれています。出店者の中には、女性社長も多く、女性ならではの感性を生かしたこだわりの商品が並びます。また、マルシェでは、いかに商品の魅力を伝えるかという販売力が大切です。各店とも、インパクトのあるPOPやディスプレイなどに工夫が見られますが、女性のみなさんのアイデアが随所に活かされています。マルシェは、「売る人も買う人もみんなが楽しそう」とよく言われますが、お客様と積極的に笑顔で接し、コミュニケーションを深める女性の能力は、素晴らしいものがあります。

生産者のみなさんは、マルシェをハレの場として、気合いを入れて出店してくれていますが、自信作を楽しんで売るといのが、ビジネス成功の秘訣といえるでしょう。

## 講師プロフィール



徳島経済研究所 専務理事

### 田村 耕一

昭和48年 日本銀行入校  
平成15年より阿波銀行社外監査役、徳島経済研究所専務理事  
平成22年より徳島経済研究所専務理事

とくしまマルシェ実行支援委員会委員長をはじめ、徳島LEDアートフェスティバル実行委員会副委員長などを務める。

主な著書として  
「ぼくらの金融教科書」  
「わしらの経済生活読本」







AWAおんなあきんど塾  
平成25年度リーダー

モンド・ジャコモ(株) 代表取締役

## 高木 博代

「女商人」をひらがなで書くと、柔らかな発想と広がりイメージを感じるのには私だけでしょうか。そして、「おんなあきんど」と声に出して読んでみると、言葉の響きが一層、輝きを増してくるから不思議です。平成25年度はこの何とも素敵な「おんなあきんど」をキーワードに活動を進めてまいりました。

AWAおんなあきんど塾は、さまざまな分野で活躍している元気いっばいの徳島の働く女性にスポットを当てたいという思いから、平成22年度に「きらめく女性大賞」を創設し、過去3回にわたって実施してまいりました。徳島の企業や団体を支えながら、きらめき、輝いている大勢の女性に出会い、その活動を紹介していく中で、阿波おんなの力強さや可能性を確かな手ごたえとして実感してきました。

おかげさまで、回を重ねる毎に、認知度も増えてきた「きらめく女性大賞」でしたが、第4回目の実施にあたり、地域経済の原点である「商い」の場で活躍する「おんなあきんど」をあらためてクローズアップしたいという思いに駆られました。

そこで、名称を「きらめく女性大賞」から「AWAおんなあきんど大賞」へと変更し、今回は、ショップを経営する女性オーナーにターゲットを絞って募集をさせていただきました。「AWAおんなあきんど」という名称には、「おんなあきんど」の思いや取り組みを深く知ること、現在、商いされている方々はもちろん、これから起業や創業を目指す女性にとってのきっかけづくりをしたいという期待とともに、私たち「AWAおんなあきんど塾」らしく地域経済の発展につながる応援をしたいという願いが込められています。

第一次審査を経て、最終選考会に進まれた7名の「おんなあきんど」のプレゼンテーションは、「さ・す・が」でした。知恵を絞り、さまざまな方策を展開し、失敗や苦難にも立ち向かう姿。日々の実践の中、真剣勝負のシーンに立っている方々だけに共通するパワー・熱意・緊張感。主催者である私たちの期待をはるかに上回る圧巻の内容でした。皆様に深く感謝の意を表します。

また、長時間にわたり審査してくださいました審査委員の皆様をはじめ、ご来場の皆様、温かいご支援をありがとうございました。心より厚くお礼を申し上げます。

そして、阿波おんなの躍動にご理解・ご協力をいただく大勢の皆様を支えられ、AWAおんなあきんど塾の活動も、一歩ずつ前進しております。今後ともご協力賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



▲第4回「AWAおんなあきんど大賞」受賞者の皆さんと審査員の皆さん。そして、AWAおんなあきんど塾キャスト、第二部でご講演いただいた田村 耕一さんを交えての記念撮影。



# AWAおんなあきんど塾キャストから「働く阿波おんな」へのメッセージ

AWAおんなあきんど塾は徳島の経済活性化のため、知恵と行動でその方策を探り、かつ取り組みを推進するために、平成7年に徳島市が呼びかけて結成された女性経営者の集まりです。



AWAおんなあきんど塾 キャスト(50音順)



(有)アンモザルエージェント 代表取締役  
**青江 文**

幸せに働き、「大切にされる人」になるためには、  
1. 自分の愛する人を大切にすること。  
2. 職場や仕事先の人たちを含めて自分とともに生きる周囲の人を大切にすること。  
自分と関わる全ての人を尊重し、愛することが、自分の幸せにつながると思います。



プライベートアトリエ 代表  
**今城 実紀**

私にエネルギーを注いでくれた「美の力」。振り返ると、人生にとって大切なのは自分の力を信じて諦めない事。人の役に立ち、人を幸せに導くことができる仕事は、必ず必要とされ、また、その仕事ができる人も必要とされると思います。



(株)クラッシー 代表取締役  
**植田 貴世子**

女性性そして母性という女性固有の感性が社会に活かされるべき時代。  
現代社会の街には「不足・不穏・不安」が溢れています。違いを恐れず「あなた」の輝きで社会に「安心」を届けましょう。



(株)ひまわり 常務取締役  
**大岩 明代**

仕事を充実させるのは自分次第。うまくいかないときも正面から向き合い、何かのせいにして逃げ出さず、乗り越えた先にある素晴らしい景色を信じて頑張っています。「美しくなることは楽しく、感動!そして人生がより輝く!」そんなハッピービューティーを共有しましょう。



(株)北野商事 代表取締役社長  
**北野 多津子**

会社経営の厳しさ、難しさが、毎日、波のようにやってきます。この波をどう乗り切るかを課題とし日々戦っています。また、常に新たな海で新たな波に向かい、自分の夢に向かってチャレンジし続けています。阿波おんなの皆様、自分の夢に向かって共に頑張りましょう!



(株)あわわ 会長  
**坂田 千代子**

まずは目標を設定しましょう。そして、いつまでにその目標を達成するかを決めて、それに向かって誰にも負けない努力を続ければ、必ず達成できることでしょう。阿波女らしい笑顔と感謝も忘れずに。



(有)ケイトップス 代表取締役  
**高岡 慶子**

私たちが働いている姿を次の世代の子どもたちに見せるだけで、とっても価値のあることだと思います。どうせならイキイキと楽しく働いて、子どもたちに羨ましがられちゃいましょう!徳島の経済発展と明るい未来のために!



モンド・ジヤコモ(有) 代表取締役  
**高木 博代**

デジタル化が目まぐるしく進む今の世の中。高いををするにも、環境には逆えられません。しかし私にとって、何よりも大切なことは、顧客様との信頼関係です。最高のおもてなしは、言葉と行動の一致を心掛け、感謝を忘れない気持ちから生まれます。道のりは長いけれど、最後はアナログが大切だと思っています。



(株)とまわ 代表取締役専務  
**高畑 富士子**

日本一元気な徳島の女性たち。そのなかでも、仕事をしながら人生を頑張っている人たちは、二倍輝いています。辛いことも多いけど、働くことでしか見えないものもたくさんあり、その中で出会った人たちが大切な仲間になる…あきんど塾は、こうして頑張る阿波おんなの皆様、仲同となり応援します。



(株)ココア堂 代表取締役  
**立川 真季**

同じ働くなら前向きに、楽しく。それが阿波女!?  
いろんな「出会い」に感謝しつつ、勇気を持ってチャレンジする!それも阿波女!?  
阿波女同士、徳島をちょっぴり盛り上げていきましょう!



(株)立木写真館 常務取締役  
**立木 さとみ**

「讃岐男に阿波女」というありがたいイメージの後ろには、「阿波男」の理解やサポートもあるわけで。仕事の場で輝くチャンスがあることに感謝しつつ、回りの人も笑顔にしていこう「阿波女」を、ご一緒に目指しましょう。



(株)西庵 常務取締役  
**西川 陽子**

仕事を通しての一番の喜びは、お客様の笑顔と、社員の成長する姿を見ることです。  
自分一人で出来ることは限られます。「鳥の目」と「虫の目」を持って、優先順位を決めて、仕事に取り組むことが大事だと思います。



オートチュール販賣 代表  
**板東美千代**

阿波おんなのように陽気で情熱的なラテンの気質を持つ阿波女。この特性がうまく引き出され、他の町とは違う女性を成長させる徳島。そんな素敵な女性が多い徳島だからこそ、元氣いっぱい働くことができ、また、そう出来るものだと信じて頑張っていきたいです。



(株)本家牧道造産 代表取締役社長  
**松浦 素子**

自分の意見を主張する事よりも、チームの目標達成を優先し、発言出来る女性。女性を盾にするのではなく、女性をさげない武器に出来る人。そんな女性が増えると素敵な社会になると思いませんか?